

<月1回>

<月1回>

私のまちですすむ

大軍拡

和歌山

白浜温泉は、日本三古湯の有馬・道後温泉と同様の歴史ある温泉です。その玄関口が南紀白浜空港です。

政府から県に南紀白浜空港を特定利用空港指定の申し入れがあったのは、2024年12月。県は議会に諮ることなく、翌年1月に受

け入れを決定、4月に南紀白浜空港は「特定利用空港」に指定されました。指定を受け入れたのは、大規模防災のためと説明されていますが、すでに災害時は「災害対策基本法」に基づき空港を利用することができるとのことです。「特定利用空港」指定の目的は、安全保障のために、自衛隊、海上保安庁が、有事に備えて平時から円滑に利用できるようにすることが目的です。



25年10月、地域住民への説明もされず、航責任極まりない回答で

防災にも観光にも必要のない戦闘機

空自衛隊のF15戦闘機による、タッチ&ゴーの訓練が初めて実施されました。空港に入ってくる戦闘機はとて不気味で、轟音に恐怖を感じました。



3月に現地白浜で「南紀白浜空港でも軍事訓練NO.3・28白浜大集会」を開催し学習を深めました。

国際女性農業従事者年 農に生きる

京都・南丹支部 野村まゆみ

新緑に囲まれて、田植え後の苗が風になびく田園風景が私は好きです。いつの間にか自然にできた景色ではなく、何代も前から守り継がれてきた風景、自分が主体的に米作りをはじめて余計に愛おしく思います。

年々異常気象が続く、猛暑の中の草刈りは過酷です。朝7時から10時頃までが勝負。草の勢いはすごいので、収穫まではひたすら草刈りが続きます。

そして、中山間地の大きな悩みは、鹿、猪などの獣害被害。年々ひどく、農家の生産意欲を失わせます。獣が里山に下りてこないで生息できるような森林環境の整備を、今さら集落任せにされても無理です。農家は悲鳴とため息の毎日です。

物価高騰が収まらず、苗・肥料代は年々値上がり。委託している収穫に関わる作業や産直センターへの運搬費用も大きな出費です。採算が取れない米作りとはこのことか。私のような小規模農家が、今年の米価は

どうなるのかと心配することなく安心して米作りができ、消費者が減農薬の安全なおいしいお米を安い価格で買えるように、これまで続いてきた自民党農政を変えていくしかない。

たくさんの人の力を借りて、自分で作ったお米を食べられ、少しでも消費者に届けられることに感謝しながら、その一方で、年々体力的には厳しくなり、いつまでできるかわからないというのが本音です。

農業は人と人をつないでくれます。私たちの地域では、5年前から農民連と新婦人が一緒に「子どもにつなぐ食・農・地の会」を作り、活動しています。機関誌の発行やつどいの開催、農業関係人口を増やそうと、農民連の方の力をかりて消費者も野菜作りに挑戦、収穫までの苦勞と喜びを分かち合い、次の世代にもつないでいきたいと思っています。



娘の友人が田植え機の操作に初挑戦

異常気象と物価高騰に悲鳴とため息の毎日

ホットライン

岐阜

50人で春のフェスタ



小组の発表会のような▲岐阜

【多治見支部 今井民子】5月31日、新婦人春のフェスタを開きました。まずキャッチフレーズを新婦人しんぶん2月28日号の編集まで楽しんでおしゃべりしように決めました。内容は班ごとに話し合い、すてきな案内チラシもできました。

当日は50人の参加で、憲法を知ろう(寸劇と井上ひさしの本の朗読)、手話の歌、ハンドベル、手作り作品・スケッチ展示、お茶のコーナー、脳トレ麻雀、昔遊び・ジエンドアかるた・ピアノ体験...まるで小组の発表会のような。この力を戦争を止め、憲法を守るための学習会や行動にしながら、8月の「平和と仲間展」につなげたいです。

長野

ハイキング小组で池の平湿原へ

【佐久支部 井出由美子】5月27日、新しい仲間を迎え、ハイキング小组の9人で池の平湿原から三方ヶ峰、見晴岳を歩きました。池の平湿原は

大阪

登山小组 しんぶんタイムも



平和でこそ▲大阪

【富田林支部 嶋貞子】5月31日から、金剛山登山小组の



昼食後に歌った▲長野

日号8面の「ピクニック弁当」を作ってみました。しらすとカリカリ梅の混ぜご飯は、会員の作った絹サヤを使い、カリカリ梅は刻み梅にするなど工夫しました。

今回の担当者は料理が苦手。でも、みんなが動きだしたら、アツという間に完成。8人で12人分を作ったので、混ぜご飯は握らず、どんぶり飯に(笑)。「これまでしんぶんのレシピ、作ったことなかったけど、簡単でおいしかったね。また作ってみたい」と好評でした。

茨城

ピクニック弁当 作ってみましたよ

【常陸大宮支部大宮班 栗田優子】新婦人しんぶん4月18



また作ろう▲茨城